

# 六郷

## ～元気に輝いて～



令和5年度  
第25号  
2023. 7.14

### 子どもたちの経験を深める外部講師を招いての学習や体験活動⑧

#### 【5年「情報モラル教室」(講師：南教育事務所指導主事 阿部義和様)】

11日に、5年生は、南教育事務所指導主事の阿部義和先生を講師に、「情報」の上手な使い手になるためにはどうすればよいかを学びました。

SNSの利用は、より便利な社会にするためになくならないものとなっています。しかし、その使い方次第では、様々なトラブルを引き起こす危険性もあります。今回の「情報モラル教室」では、具体的な事例を挙げていただきながら、トラブルに巻き込まれないために知っておいてほしいことを分かりやすく教えていただきました。

使うのは簡単なSNS。ただ、その陰には危険な落とし穴があることを子どもたちは認識する必要があります。SNSは、子どもたちだからといって配慮してくれません。使用の際には、自覚と責任が必要なことを強く感じさせられました。ただ、子どもを守るのが、私たち大人の役割ですので、子どもたちのSNSの利用について関心をもつと共に、何か困ったことがあったら、一緒に解決してあげたいと思います。保護者の皆様におかれましても、「これはちょっと……」と感じたことがありましたら、学校までご連絡いただければと思います。



#### 【5・6年「命の大切さ学習教室」(講師：交通事故被害者遺族のお母さん)】



11日に、5・6年生は、交通事故被害者遺族のお母さんを講師に、命の大切さについて考える学習をしました。講師の方からは、18年前に、下校途中の事故で息子さん(当時、小学1年生)を亡くしてしまった経験を子どもたちにお話をいただきました。

子どもたちは、講師の方の悲しさや苦しさ、喪失感などをそのお話から感じ取り、与えられた命を大切にすることの必要性を再確認していました。子どもたちが真摯にお話を聞く姿がとても印象的でした。この貴重な機会を生かし、事故なく安全に生活するための行動を心がけてほしいと感じました。

#### ～子どもたちの感想から～ (一部抜粋しました)

私は、改めて命の大切さや生きていることが幸せであることを感じました。命はお金で買うことができない大切なものだと思います。だから、家族や友達などを自分が傷つけてしまわないように大事にしたいです。私はまだ、目の前で大切な命を失う経験をしたことはありませんが、世の中には大切な人を失って、悲しく、苦しんでいる人がたくさんいることを知りました。ささいなことでも、周りの人たちが困っていたら「大丈夫？」と声をかけてあげたいです。また、今生きていることに感謝しながら人生を歩んでいきたいです。(5年 女子)

